

編 集 後 記

ダイオキシンや環境ホルモンが新聞紙上を賑やかすようになってから、私達の環境問題への関心は大いに高まったように思われる。本号においても、生活と密に関連した環境問題として、「*Umu* 試験による生活排水の遺伝毒性評価」、「岡山市福谷地区における環境活動と住民意識について」と題する論文、研究ノートをご寄稿いただいた。今後も、本誌が身近な環境問題について情報提供できることを切に望んでいる。

さて間もなく、新しい世紀が訪れようとしている。この100年間において、人類はテクノロジーを飛躍的に進展させ、豊かで快適な暮らしを享受するに至った。しかしその反面では、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会を定着させ、地球規模で大きな環境負荷を与えることとなった。新しい世紀には環境負荷を軽減させる環境管理型社会を構築しなければならない。本号で紹介があったように、岡山大学においても環境管理のシステム作りが進められている。センターの努力とともに、各位のさらなるご協力により、岡山大学が環境管理の先鞭となることを期待している。

三 好 伸 一